



《学校教育目標》 「自ら学び 心優しく たくましく生きる児童の育成」
「かしこく」自ら学ぶ子 「やさしく」心豊かな子 「たくましく」やりぬく子

授業参観・学級懇談・PTA人権教育研修会のご参加ありがとうございました！



子育てはみんなが
つながることが
大切！！

11月6日の参観日は、全クラスで道徳の授業を見ていただきました。各クラスで扱った題材はそれぞれ違っていました。が、題材がもつ道徳的な価値について子どもたちに考えさせる授業だったと思います。友達と話し合うことによって自己のよりよい生き方を考えていく学習が道徳です。道徳的实践力が身につけていくよう支援していきたいと思ひます。

PTA人権教育研修会では、親育ち応援プログラムの「困ったときの対処法」のワークショップを行いました。約50名の参加で盛り上がりました。まず、アイスブレイクで参加者の緊張がほぐれ、グループがなごやかな話しやすい雰囲気になりました。講師は、「ほのぼの子育て『ほっとはあと』」の隅田先生でした。我が子が辛い思いをして学校から帰ったときにどのように対処するのかを、子ども役、親役になって考えました。子どもの気持ちに寄り添っていっしょに考え、子どもにどう行動するか自己選択、自己決定させることが大切だということを通理理解しました。また、それだけでなく、担任の先生に連絡したり、周りの保護者に相談したりするなど、いろいろな対処法の幅を広げることも大切です。そのためには、日頃から、保護者・先生・地域住民とつながりを深めておくことが重要だと気づくことができた研修会でした。

給食試食会で食育の大切さを

11月6日に給食試食会を行い、16名の参加がありました。献立は、牛乳、ごはん、えびと豆腐のうま煮、甘酢和え、みかんでした。久しぶりの給食に参加された保護者の皆さんも会話がはずんだ様子でした。試食後は、給食センターの栄養教諭の先生から「共食は心の栄養」というお話を聞きました。一人ではなく、だれかと一緒に食べると心が育つというこです。また、かわ



いい我が子だからこそ、大人になって困らないように食事のしつけをすることも大切だと話されたことも心に響きました。

『発見！北川の歴史』

6年生が総合的な学習で発表！

11月1日に、6年生が総合的な学習で、地域の「北川の昔を訪ねる会」の皆さんに教えていただきながら北川の歴史について調べてきたことをまとめ、5年生に発表しました。ゲストとして「北川の昔を訪ねる会」の方にも来ていただき、「自分たちが教えた以上に



よく調べたなあ。」と感心されました。北川の歴史を調べることで、子どもたちの心の中に郷土愛が育まれていると思ひます。